

明るい選挙啓発ポスター コンクールで2人が全国入選

「平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」の第2次審査(県審査)で、町内2人の作品が優秀賞を受賞しました。また、2人の作品は第3次審査(中央審査)に推薦され、どちらも公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞しました。

第2次審査 優秀賞
第3次審査 公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞

都道府県選挙管理委員会連合会会長賞



日詰小学校 6年 塩井 琴音さん



【作品への思い】
選挙権を持つ人が「たったの一票でも未来が変えられるんだ。選挙は大切なことなんだ」と改めて実感するきっかけになってほしいという思いで描きました。



長岡小学校 6年 大坪 一颯さん



【作品への思い】
一人一人の一票を、ピンスに表し、ピンスでは未来は描けないけど、みんなのピンスで明るい未来をつくってほしいという思いを込めました。



(左から)山王海土地改良区の高橋勲一理事長、熊谷町長、(株)アグリ紫波の高橋利明代表取締役、高橋良雄取締役

(株)アグリ紫波が 東北農政局長賞を受賞

赤石地区の(株)アグリ紫波(高橋利明代表取締役)は平成29年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰の東北農政局長賞を受賞し、12月22日に熊谷町長のもとを報告に訪れました。この賞は土地改良施設などを有効に活用しながら、創意工夫を凝らした生産・販売対策に積極的に取り組み、安定した営農の定着が進む団体に対して授与されるもの。同社は熟期の異なるもち米3品種のほか、小麦やソバの栽培やりんどごう栽培による収益の拡大、減農薬減化学肥料栽培などの取り組みが評価されました。高橋代表取締役は「思いがけない受賞でしたが、とてもうれしいです。今後は面積を拡大するとともに、6次産業化も視野に入れていきます」と今後の展望を語りました。

ジャガイモを テーマに書道



姿勢を正して集中する子どもたち

今年で3回目となる「紫波町まるごと書きかけコンクール」が1月14日、中央公民館で開かれました。小学生から一般まで38人が参加。「ジャガイモをテーマに各自が課題を選び、思い思いの作品を仕上げました。「かげの女王」と書いた古館小4年の金澤謙伸さんは「シャドークイン」という品種を工夫して、心を込めて書きました」と笑顔で話しました。紫波総合高校書道部の矢嶋慶之先生から指導を受けながら作品を完成させた後は、産直紫波マルシェ内にある「ポテトデリマメタ」店長の高橋和久さんからジャガイモに関するお話を聞き、理解を深めました。
入賞作品は2月18日(日)まで、情報交流館1階市民交流ステージに展示されています。